

Ⅲ 調査結果の詳細

Ⅲ 調査結果の詳細

1 食育への関心について

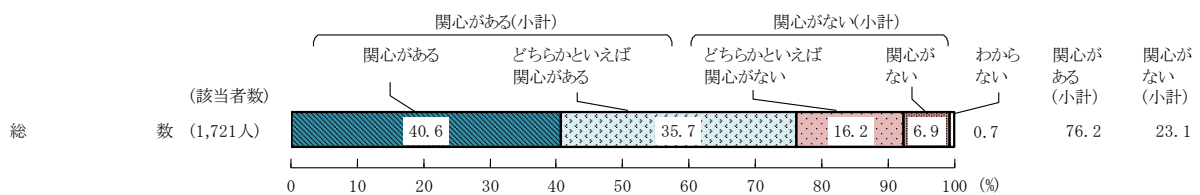
(1) 食育への関心度

食育に関心があるか、それとも関心がないか聞いたところ、『関心がある』と回答した人の割合が76.2%（「関心がある」40.6%+「どちらかといえば関心がある」35.7%），『関心がない』と回答した人の割合が23.1%（「どちらかといえば関心がない」16.2%+「関心がない」6.9%）となっている。

(図1-1)

Q1 「回答票1」あなたは、「食育」に関心がありますか、それとも関心がありませんか。この中から1つ選んでください。

図1-1 食育への関心度

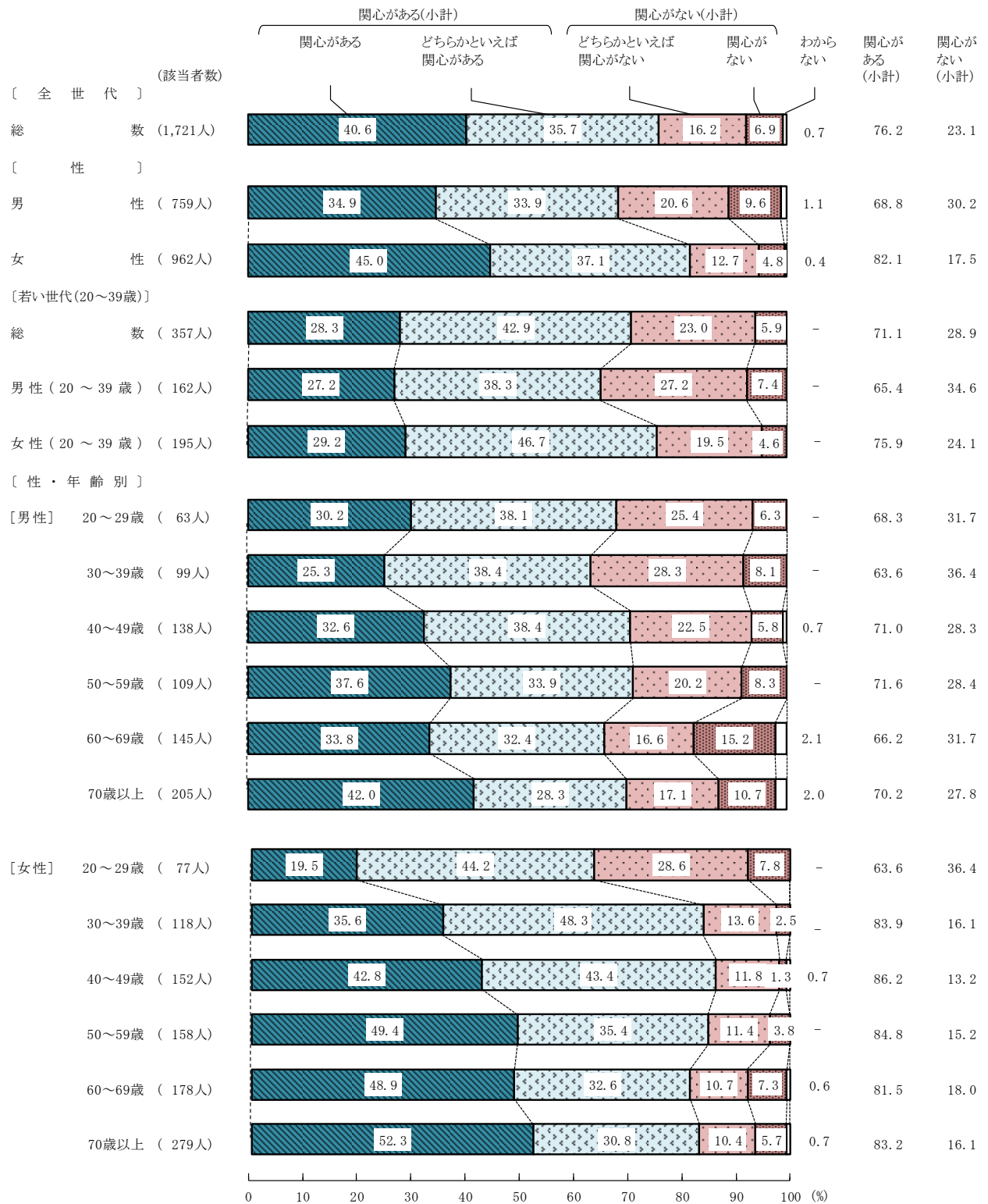


「第3次食育推進基本計画」の目標
・食育に関心を持っている国民の割合
目標値(2020年度)：90%以上

食育への関心度について、性別に見ると、『関心がある』と回答した人の割合は女性で高く、『関心がない』と回答した人の割合は男性で高い。

若い世代（20～39歳）の男性では、『関心がない』の割合が高い。

図1-1-1 食育への関心度

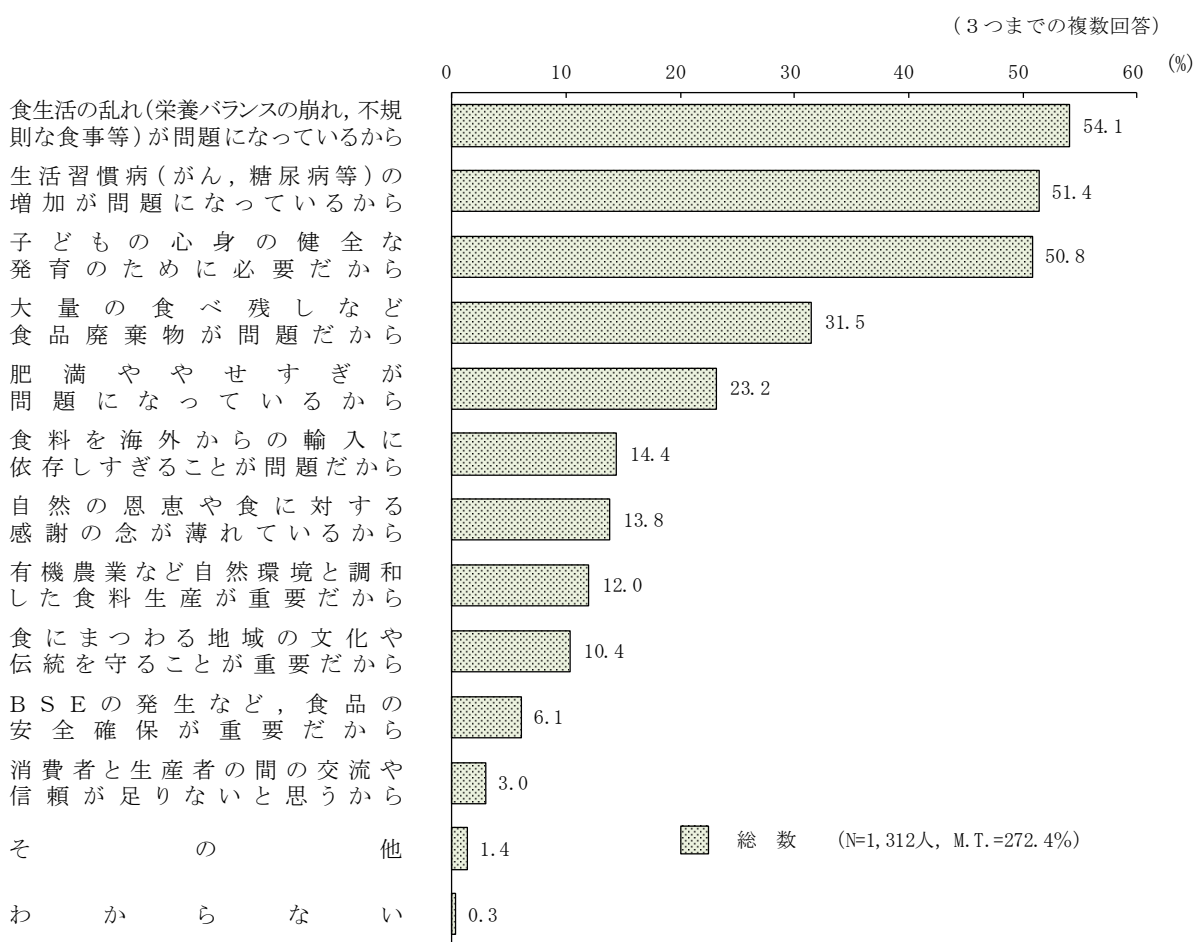


(2) 食育への関心理由

食育に『関心がある』と回答した人に、関心がある理由を聞いたところ、「食生活の乱れが問題になっているから」を挙げた人の割合が 54.1%と最も高く、以下、「生活習慣病（がん、糖尿病等）の増加が問題になっているから」（51.4%）、「子どもの心身の健全な発育のために必要だから」（50.8%）、「大量の食べ残しなど食品廃棄物が問題だから」（31.5%）、「肥満ややせすぎが問題になっているから」（23.2%）の順となっている。（3つまでの複数回答，上位5項目）（図1-2）

【Q1で「(ア) 関心がある」又は「(イ) どちらかといえば関心がある」と答えた方に】
 SQ [回答票2] あなたが「食育」に関心がある理由は何ですか。この中から3つまで選んでください。（3M.A.）

図1-2 食育への関心理由



食育への関心理由について性別に見ると、「生活習慣病（がん、糖尿病等）の増加が問題になっているから」、「子どもの心身の健全な発育のために必要だから」を挙げた人の割合は女性で高く、「肥満ややせすぎが問題になっているから」を挙げた人の割合は男性で高い。

若い世代（20～39歳）では、「子どもの心身の健全な発育のために必要だから」を挙げた人の割合が高い。

表1-2 食育への関心理由

(3つまでの複数回答)

	該 当 者 数	食生活の乱れが問題に	生活習慣病等への増加が、	子どもの心身の健全な発育の	大量の食べ残しなど	肥満ややせすぎが問題	食料を海外からの輸入に依存しすぎることが問題だから	自然の恩恵や食に対する感謝の念が薄れているから	有機食料生産が重要だから	食にまつわる地域の文化や伝統を守ることが重要だから	BSEの発生など、食品の安全確保が重要だから	消費者と生産者の間の交流や信頼が足りないと思うから	その他	わからない	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
[全 世 代]	1,312	54.1	51.4	50.8	31.5	23.2	14.4	13.8	12.0	10.4	6.1	3.0	1.4	0.3	272.4
[性 別]															
男 性	522	51.1	47.1	45.8	30.8	27.0	14.6	14.8	11.1	12.3	5.2	4.2	2.3	0.6	266.9
女 性	790	56.1	54.2	54.1	31.9	20.6	14.3	13.2	12.7	9.1	6.7	2.3	0.9	0.1	276.1
[若い世代(20～39歳)]															
総 数	254	61.4	42.9	67.7	31.5	24.0	5.5	12.6	6.3	13.0	5.1	1.6	0.4	-	272.0
男 性 (20～39歳)	106	62.3	37.7	60.4	27.4	30.2	5.7	16.0	5.7	18.9	3.8	1.9	0.9	-	270.8
女 性 (20～39歳)	148	60.8	46.6	73.0	34.5	19.6	5.4	10.1	6.8	8.8	6.1	1.4	-	-	273.0
[性 年 齢]															
(男 性)															
20 ～ 29 歳	43	58.1	39.5	48.8	23.3	32.6	4.7	20.9	4.7	18.6	2.3	2.3	2.3	-	258.1
30 ～ 39 歳	63	65.1	36.5	68.3	30.2	28.6	6.3	12.7	6.3	19.0	4.8	1.6	-	-	279.4
40 ～ 49 歳	98	48.0	41.8	69.4	29.6	17.3	8.2	16.3	6.1	9.2	5.1	8.2	3.1	1.0	263.3
50 ～ 59 歳	78	44.9	51.3	52.6	33.3	34.6	16.7	11.5	6.4	11.5	7.7	5.1	5.1	-	280.8
60 ～ 69 歳	96	60.4	51.0	28.1	33.3	31.3	21.9	15.6	14.6	8.3	5.2	1.0	1.0	-	271.9
70 歳 以 上	144	42.4	52.8	27.1	31.3	24.3	19.4	13.9	18.8	12.5	4.9	4.9	2.1	1.4	255.6
(女 性)															
20 ～ 29 歳	49	71.4	40.8	46.9	32.7	32.7	4.1	6.1	4.1	18.4	6.1	2.0	-	-	265.3
30 ～ 39 歳	99	55.6	49.5	85.9	35.4	13.1	6.1	12.1	8.1	4.0	6.1	1.0	-	-	276.8
40 ～ 49 歳	131	54.2	51.9	77.9	33.6	18.3	8.4	16.0	6.1	13.7	5.3	2.3	-	-	287.8
50 ～ 59 歳	134	61.9	55.2	61.2	34.3	17.9	10.4	14.2	7.5	12.7	5.2	1.5	0.7	-	282.8
60 ～ 69 歳	145	59.3	62.1	41.4	35.2	22.8	16.6	10.3	18.6	4.1	9.0	1.4	0.7	-	281.4
70 歳 以 上	232	48.7	54.7	32.3	25.9	22.8	24.1	14.7	19.4	7.8	7.3	3.9	2.2	0.4	264.2

(3) ふだんの食生活で特に力を入れたい食育の内容

ふだんの食生活の中で、今後食育として、特にどのようなことに力を入れたいと思うか聞いたところ、「栄養バランスのとれた食生活を実践したい」を挙げた人の割合が50.1%と最も高く、以下、「食べ残しや食品の廃棄を削減したい」(44.7%)、「健康に留意した食生活を実践したい」(41.5%)、「食品の安全性について理解したい」(41.3%)、「規則正しい食生活を実践したい」(38.5%)の順となっている。(複数回答、上位5項目)(図1-3)

Q2 [回答票3] ふだんの食生活の中で、今後食育として、あなたは特にどのようなことに力を入れたいと思いますか。この中からいくつでも選んでください。(M.A.)

図1-3 ふだんの食生活で特に力を入れたい食育の内容

